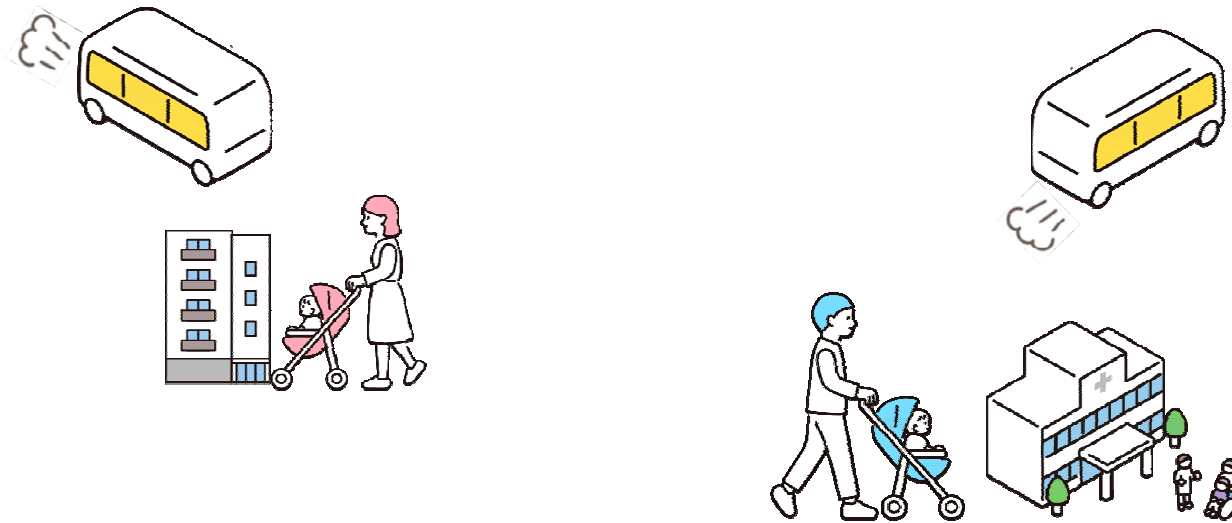




-街との繋がりを生み出す育児世代専用乗り合いバスの提案-



## 1. はじめに

---

現在1歳半の双子の男子がおり、10月に第三子を産まれる予定です。  
夫婦協力して育児中のなかで子供と一緒に出掛けることの大変さを日々感じております。  
また埼玉から転勤してきた私達夫婦にとって九州は魅力的なところが多いので、育児中であっても負担がなく移動できる手段があれば出掛ける機会が増え、それが魅力的な街の発見と発展に繋がると  
思い今回の提案を考えました。

## 2. 分析

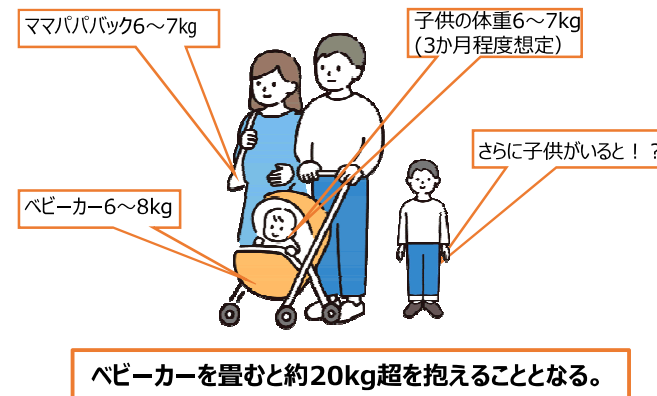
ベビーカーでの移動は課題がいっぱい！行くまでの準備と移動だけで疲れてしまい、だんだんと外出するのが億劫になっていきます、

### ■具体的な課題

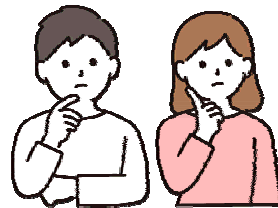
- ・駅ではエレベーター利用が高齢者やキャリーケース利用の方と被るため並ぶ。設置している場所が限られる。
- ・混雑時間帯は利用するのが難しい。混雑時間帯以外でも周囲に気を遣う
- ・子供目線での設えになっていない。その為ぐずったり、ひやりとすることが発生してしまう。
- ・車利用の場合、チャイルドシートの取り付けやベビーカーへの載せ替え、畳んでしまうなど作業が大変。

### ■課題から見えてくる欲求

- ・ベビーカーを畳まずに利用できる。
- ・いつでも、周囲に気を遣わずに利用できる。
- ・ベビーカーのまま乗っても安全・安心できる。
- ・子供が乗るのが楽しくなる乗物。



欲求を満たすサービスがあれば、普段行けなかったところ等を親子でどんどん出かけることができ、またそういったサービスがあることで街や人との交流が増え、街の活性化につながると思います！



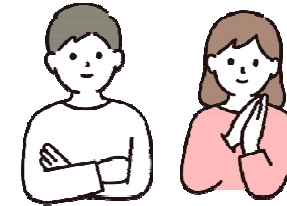
では具体的にどのようなサービスがあればよいか？

### 3. 提案

では具体的にどのようなものがあればよいか？



ベビーカーのまま利用することができる  
育児世代専用の乗り合いバスサービスの提案

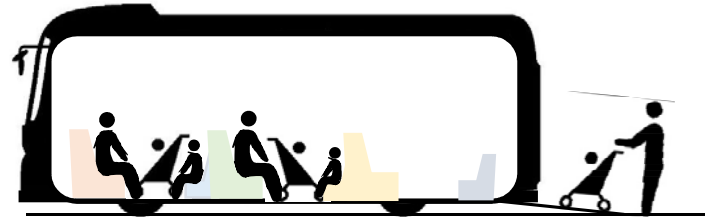


#### ■計画概要

- ・ 段差がなくスロープでベビーカーのまま車内に入れる。（低床車タイプ）
- ・ ベビーカーの固定エリアと親の席、子供用の席で1つのユニットになっており、3～4ユニットで構成されている。
- ・ 内装は子供向け。移動中は育児向けのサービスやアプリなどを閲覧できるモニターを整備
- ・ 利用者の行きたいところに行く通常型と親子向けの飲食店やサービス店舗、イベントに案内してくれるツアー型の2つのタイプを想定。
- ・ 家の前に迎えに来てくれて、送迎する場所によってAIがルートを最適化する。

#### 1. 日常的利用

病院やスーパー、駅までなどのや駅から離れている飲食店や店舗に行くときの利用



内装イメージ

子供向けに色鮮やかな内装や親子に適したシートの導入



参考：スーパービュー踊り子号  
JR東日本HPより参照



参考：特急あそぼーい JR九州HPより参照

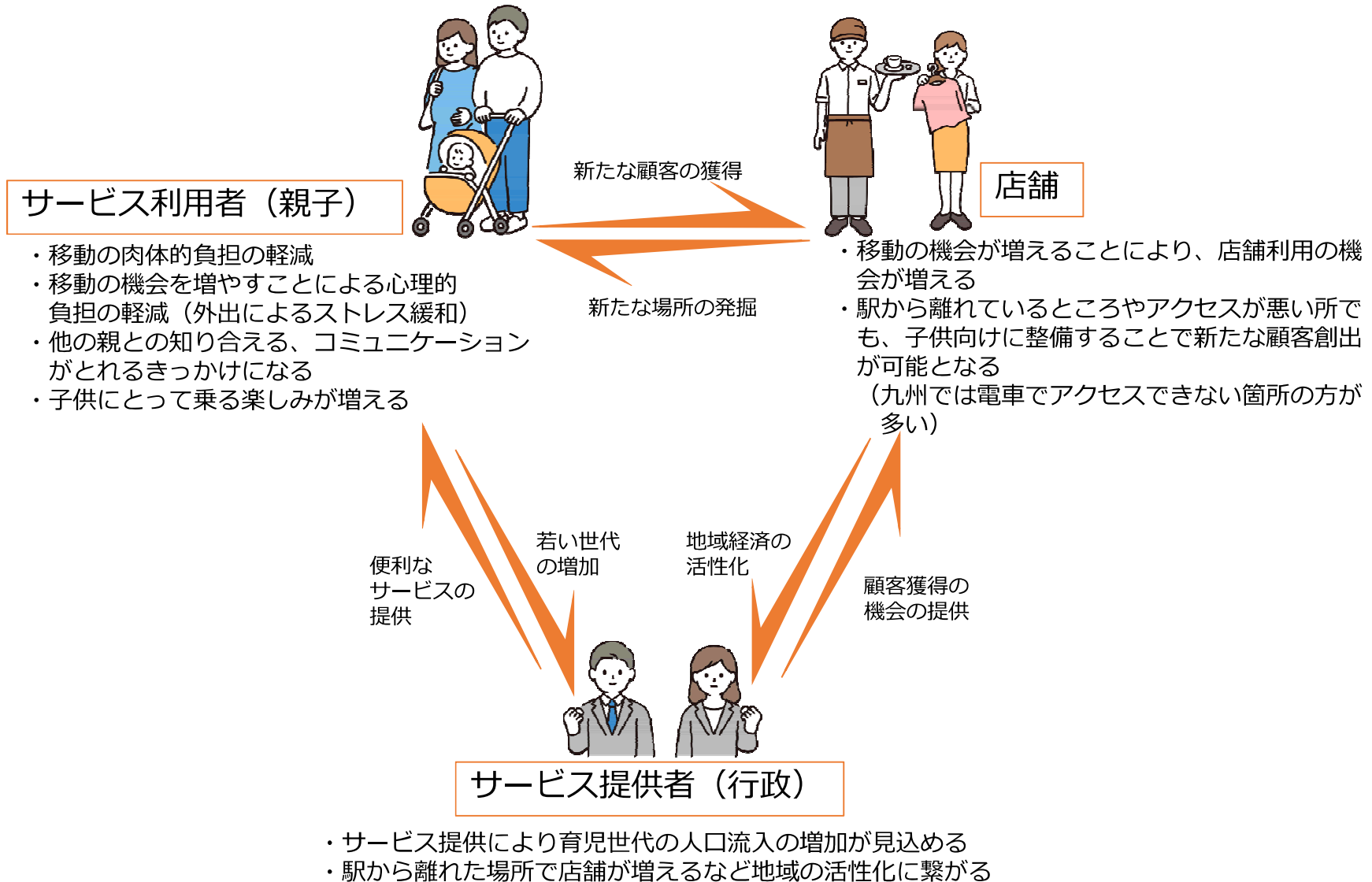
#### 2. 非日常的利用

今まで行ったところがない場所だったり、イベントなどへのツアーバスのような利用



## 3-1. 提案

### 提案サービスによるメリット



## 4. さいごに

---

このサービスがあれば、現状では駅前店舗や、施設が充実してる大型店舗に出掛けることが多くなりがちなのに対し、中小規模の店舗に行く機会を増やすことができます。

そういった地域に根差したお店、お店の人とのコミュニケーションを取ったり、はたまた乗り合いした親同士が知り合うきっかけになったりと人と人の接点を増やすことができ、そしてそれが街の活性化に繋がっていくのではと思っています。

